

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

第 23 回文法研究ワークショップ

「文法研究と DH (2) : Universal Dependencies」

開催のお知らせ・募集要項

デジタル・ヒューマニティーズ (DH) は人文学的問題に情報学的手法を適用する学際領域であり、文法研究においてもデジタル技術に基づく研究が近年進展を見せています。本ワークショップシリーズ「文法研究と DH」では、若手研究者が中心となり、文法研究と DH をめぐる問題について議論を行います。第 2 回目のワークショップでは、世界の諸言語の形態統語的アノテーションのフレームワークである Universal Dependencies (UD) について、発表者が自身の自然言語処理と記述言語学研究を踏まえながら発表を行います。その発表をもとに参加者全員で文法研究と DH の接点について理解を深めることを目的にしています。上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日時：2023 年 7 月 26 日（水）10:30～12:00
2. 開催方法：ZOOM 会議室（参加情報は開始 1 時間前までに登録者にお送りします）
3. プログラム：10:15 開室
10:30～10:35
倉部慶太 (AA 研)
「趣旨説明」
10:35～11:35
田口智大 (ノートルダム大学大学院)
「自然言語処理と記述言語研究のインターフェイス：Universal Dependencies のすすめ」
11:35～12:00
参加者全員
全体討論
司会：高橋洋成 (TUFiSCo)
4. 参加資格：上記のテーマに関心のある研究者・学生
※ 大学院生以上を原則とします。それ以外の方についてはメールでご相談ください。
5. 定員：なし。
6. 参加申込方法：下記 URL にアクセスして、ご登録ください。
なお、右記 QR コードからでも同じページにアクセスできます。
<https://forms.gle/aoD2MM1XTX6HvJjAA>
7. 申込締切：7 月 25 日（火）正午



8. 問い合わせ先：

「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して (DDDLing)」事務局

dddling-office [at] tufts.ac.jp ([at]を@に変えて送信ください)

9. その他：

- ・ワークショップは日本語でおこないます。
- ・参加は無料です。

※ご不明な点がございましたら、上記「8. 問い合わせ先」までご連絡ください。

※文法研究ワークショップは、記述言語学を志す学生や研究者が最新の研究成果や調査データを紹介しあうことにより、学生・研究者の交流や、情報共有を行なうことを目的としたワークショップです。過去のワークショップにつきましては、以下をご覧ください。

<http://www.aa.tufts.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/grammar-wr-ws>

共催：

- 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 基幹研究「アジア・アフリカの言語動態の記述と記録：アジア・アフリカに生きる人々の言語・文化への深い理解を目指して (DDDLing)」
- TUFs フィールドサイエンスコモンズ (TUFiSCo)
- 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 情報資源利用研究センター (IRC)

以上